

当事者研究

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

【担当者名】○奥田かおり (k-okuda@hoku-iryu-u.ac.jp)、向谷地生良(客員)、橋本菊次郎、鈴木和

【概要】

北海道浦河町の社会福祉法人「浦河べてるの家」の実践を出発点に、当事者研究の成り立ちと理念を学ぶ。教育・子ども・司法・職場など多様な分野における発展と実践事例を通して、当事者研究が社会に果たす意義を考察する。授業後半では、グループに分かれ、様々な当事者研究の方法を体験し、グラフィックレコーディングの手法を用いて対話の可視化にも取り組む。

【学修目標】

1. 当事者研究の歴史的背景を学び、理念の基礎を説明できる。
2. 当事者研究の発展と各分野（教育・司法・職場など）での応用例を理解する。
3. 自分自身の苦勞を「研究」の対象として捉え、他者と共有・対話できる。
4. グラフィックレコーディングの技法を理解し、対話の可視化を実践できる。
5. 当事者研究の学びをソーシャルワークや将来の実践に結びつけて考察できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・当事者研究を学ぶことの意義について ・当事者とは、研究とは、対話とは	向谷地 奥田
2	当事者研究 誕生の背景	・誕生の背景を学ぶ	向谷地 奥田
3	当事者研究 誕生の背景	・浦河べてるでの当事者研究の発展について学ぶ	向谷地 奥田
4	理念ミーティング	グループに分かれ理念ミーティングを体験する ・理念集を読みながら、理解を深める	奥田
5	理念ミーティング	グループに分かれ理念ミーティングを体験する ・理念集を読みながら、理解を深める	奥田
6	理念ミーティング	自分が気に入った理念についての発表（演劇的手法を用いて）	奥田
7	当事者研究の広がり	学校・教育現場（子ども・若者）の当事者研究	奥田
8	当事者研究の広がり	職場・支援者の当事者研究	奥田 鈴木
9	当事者研究の広がり	司法領域での当事者研究	奥田 橋本
10	当事者研究の広がり	海外での当事者研究の取り組み（韓国）	特別講師 コ・ソング 奥田
11	グラフィックレコーディング	当事者研究のホワイトボードの意義 グラフィックレコーディングについて	特別講師 池松麻穂 奥田
12	様々な当事者研究の方法	当事者研究ワークシートを使って自分の苦勞のパターンを観察してみる	奥田
13	様々な当事者研究の方法	実際に当事者研究をやってみる	向谷地 奥田
14	様々な当事者研究の方法	リフレクティングワークで「話すこと」と「聞くこと」について学ぶ	奥田
15	振り返り	この授業から得たこと、学んだことについてグループでまとめ、発表する。	向谷地 奥田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート50%（教員）：この授業で学んだこと、気づきを2,000字程度でレポートを書く。当事者研究ワークシートで発見した自分の苦勞のパターンについてもレポートに記載する。

当事者研究ワークシート 30%（学生評価）：学生自身がワークシートの取り組みへの姿勢について評価。

ワークシートの完成ではなく、その中で取り組んだ自分の苦勞に関する実験活動を主に評価する。

参加態度 20%（学生評価）：この授業への参加態度（出席、発言、協調性、リーダーシップ）について学生自身で評価する。

【教科書】

みんなの当事者研究 熊谷晋一郎 編 金剛出版

【学修の準備】

事前（2時間）：配布資料を読み、感想をまとめる。

理念集を読み、自分が気になるものを選びその理由を考える（発表の準備）。

事後（2時間）：毎回授業で印象に残った言葉・気づき・疑問をリフレクションノートに記録。

自身の苦勞のパターンについての観察記録をつける。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【実務経験】

向谷地生良（精神保健福祉士）

橋本菊次郎（精神保健福祉士）

鈴木和（精神保健福祉士）

奥田かおり（ソーシャルワーカー）

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な演習を行う。